

変更契約の調書

工 事 名 市道川尻線 道路流出対策工事

当初

施 工 場 所 南陽市 赤湯 地内

請 負 業 社 名 株式会社松田組

工 事 種 別 土木一式

工 事 概 要 道路嵩上工事 施工延長：L=418m
1. 土工：N=1式 2. 排水工：N=1式 3. 補強土壁工：A=446㎡
4. 舗装工：A=2,930㎡ 5. 安全施設工：N=1式
6. 仮設工：N=1式

契 約 金 額 73,700,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)

工 期 着工 令和5年12月1日
完成 令和6年3月27日

第1回変更

変 更 年 月 日 令和6年3月13日

変 更 金 額 (変 更 後) 84,546,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)

工 期 (履 行 期 間) 完成 令和6年3月27日

変 更 理 由

- 砕石材について
当初、路床盛土工及び補強土壁工で使用する砕石材については、再生資材を利用する計画としていたが、市場調査したところ、再生資材の供給不足により材料の調達が困難であることから一部新材に変更し対応したい。
【当初】 【変更】
 - 路床盛土工 RC-40(再生クラッシャーラン) → C-40(クラッシャーラン)
 - 補強土壁工 RC-80(再生クラッシャーラン) → C-80(クラッシャーラン)
- 進入路工について
当初、道路からの民地部への進入路については既存ヒューム管φ800に合わせ、同材料で進入路を構築する計画としていたが、沿線地権者との協議の結果、ヒューム管φ800の断面が過大であることから、経済性及び施工性で優位である鉄筋コンクリート水路と上蓋に変更し、施工することとした。
【当初】 【変更】
 - 進入路工 ヒューム管(φ800) L=40m → L=0m (L=40m 減)
 - 鉄筋コンクリート水路(BF450) L=0m → L=66m (L=66m 増)
- 排水工について
当初、路面排水については、土側溝による法尻水路にて処理することとしていたが、現地再調査の結果、周辺地盤からの水量が多く、土質も軟弱であるため、土側溝では長期にわたって適切な排水勾配を維持していくことが困難であることからコンクリート製の水路を設置することで、適切に路面排水の処理をしたい。
【当初】 【変更】
 - 排水工 ベンチフューム(BF450) L=-m → L=182m (L=182m 増)
- 交通管理工について
当初、交通誘導については、片側交互通行を想定し、規制区間の前後に各1名ずつ、計2名体制で計上していたが、規制延長が長く、施工箇所への工事用車両及び途中接続する道路からの一般車両の誘導等のため、誘導員を配置する必要があることから計3名体制での交通誘導とし、規制区間内の適切な安全管理に努めたい。
【当初】 【変更】
 - 交通誘導員B N=128人 → N=249人 (N=121人の増)
- その他、現地に適合するよう軽微な変更を実施したい。